

国東市施設白書を作成しました

高度経済成長期に整備した公共施設の老朽化が急速に進行しつつあり、全国的な課題となっています。国東市においても、今後施設が一斉に老朽化し、建替えや大規模改修による経費が集中的に発生することが懸念されています。そこで、市が保有し、管理している公共施設についての現状や課題の把握が必要であることから、平成28年6月に「国東市施設白書」を作成しました。白書は、国東市役所本庁情報コーナー・各総合支所(国見・武蔵・安岐)、国東市ホームページでご覧いただけます。

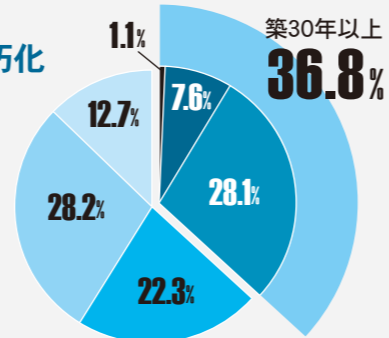
《施設白書の概要》

①公共施設(ハコモノ)の保有状況

施設数	257
延床面積の総計	286,688㎡
市民1人当たりの延床面積(H28.3.31)	9.7㎡ (全国平均の3倍) ※全国平均3.2㎡

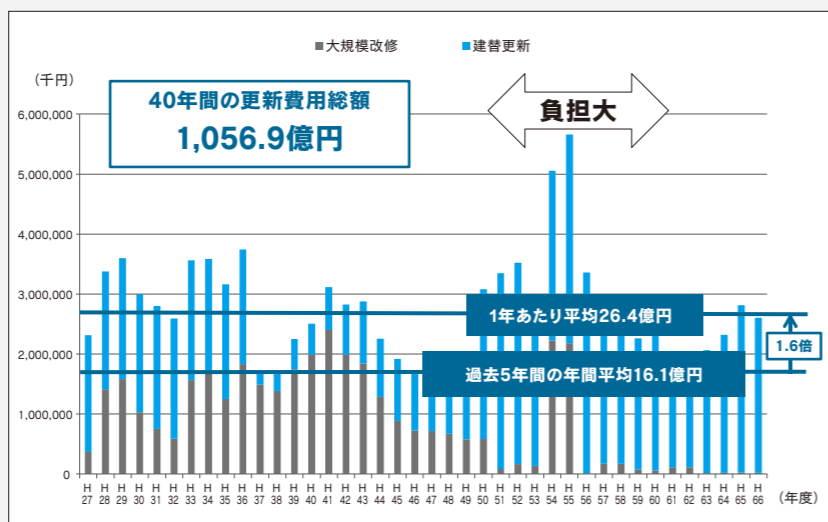
②公共施設36.8%が老朽化(建築後30年以上経過)

- 10年未満
- 10-20年未満
- 20-30年未満
- 30-40年未満
- 40-50年未満
- 50年以上



③更新費用の推計

今後40年間で公共施設に係る更新費用(建替え・大規模改修)は、1,056.9億円(年間平均26.4億円 現在の財政負担の1.6倍の金額)



※推計方法
総務省が提供した更新費用試算ソフトを用いて、延床面積×更新単価で、一律に試算。(建築後30年で大規模改修、その後30年で建て替えると仮定。)

《白書から見てきた課題》

- 4町合併等により施設の数が多い。(市民1人当たりの延床面積が全国平均の3倍)
- 建築後30年以上経過の施設が36.8%と老朽化が進んでおり、今後、修繕などの経常的な維持管理費の増加が見込まれる。
- 将来更新費用の試算により、現在保有している公共施設等を、将来にわたって継続保有することは財政的に難しい。

《今後の予定》

これから、この白書をもとに今後の施設のあり方を検討し、平成28年度中に「国東市公共施設等総合管理計画」を策定する計画です。

《市民アンケート》

公共施設等総合管理計画の参考とするため、公共施設についてのアンケート調査票を、無作為抽出の市民3,000人へお送りします。アンケートが届いた方は、調査にご協力をお願いします。

【問合せ先】 国東市財政課財産管理係 TEL 0978-72-5165

防災対策の準備ができれば、実際に対策を立ててみましょう。



対策 1 家庭内で話し合っ「災害時の我が家のルール」を作りましょう。

- ①ハザードマップで、自分の住む地域の危険箇所を確認
- ②我が家の安全確認(自宅内の危険箇所、家具の固定など)
- ③避難所や避難場所と経路の確認(経路は昼と夜に実際に歩くことがお勧め)
- ④備蓄品の準備と確認(非常食・卓上コンロ・懐中電灯・医療品など)
- ⑤非常持出品の準備と確認(貴重品・非常食・医療品・懐中電灯・衣料など)
- ⑥消火用品、防災資機材の準備と確認(消火器・ヘルメットなど)
- ⑦災害時の行動確認(ガス栓・ブレーカーの措置、高齢者等のいる家庭は避難方法)
- ⑧家族の連絡方法の確認(災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板などの安否確認ツールなど)

以上のようなことを話し合っ、確認しておきましょう。



対策 2 実際の災害に対する事前の準備

地震や津波

- ①家具類の転倒・落下・移動防止対策(圧死を防ぐ、避難ルートの確保)
- ②タンスなどの大きな家具のそばで寝ない(ドアの近くに家具を置かない)
- ③携帯電話を枕元に置いて寝る。充電しておく(早期避難のため)
- ④緊急避難場所(高台)・避難路の確認など

風水害

- ①避難の準備(非常持出品・非常備蓄品・避難所の確認)
- ②家族内での連絡体制(伝言ダイヤル・伝言板)
- ③自分の住んでいる地域の危険箇所の把握(浸水区域・土砂災害警戒区域等)
- ④防災無線戸別受信機の管理(乾電池の定期的な交換など)



対策 3 実際の災害が起きた場合

地震や津波

「いつ」「どこで」起きるか分からない地震は、絶対に助かる方法は存在しないので「命を守る」「怪我をしない」ことを最優先しましょう。

- ①自分の身を守る(テーブルの下にもぐるなど落下物から頭を守る)
- ②揺れが収まったら、火の始末や家族の安否確認
- ③沿岸部であれば高台への避難

※重要なのは、揺れがおさまるまで身を守り、その後行動すること。

風水害

近年の気象状況の変化により、過去に経験をしたことのないような集中豪雨や梅雨前線豪雨、巨大台風が発生等により土砂災害や河川の氾濫などの災害が発生しております。風水害は、天気予報によりある程度事前に知ることができます。天気予報を上手に活用して、どう生かすかが重要です。

- ①テレビやインターネット、防災行政無線でこまめに気象情報等を確認
- ②危険を感じたら早めの避難
- ③避難する時は、家族や地域の人に連絡
- ④逃げ遅れたら、山や崖から離れた自宅や近所の2階以上の部屋に避難(垂直避難)



問合せ先 総務課防災係 ☎0978-72-5160